

三つの花（西部小学校だより）

滑川市立西部小学校 R7.3.7

学校教育目標



「三つの花」を咲かせる西部っ子

にこにこ花
ほかほか花
きらりん花

楽しく学ぶ
相手の心を思いやる
きらきらと自分らしく輝く

令和7年度から実施のチーム担任制について

本年度から導入しています『チーム担任制』について、令和7年度から市内小中学校で、取組の内容を工夫して実施いたします。

【チームの力を生かし、質の高い教育を目指します。】

- ★これまで以上に、一人一人の子供を複数の教員で指導・支援する学校体制をつくります。
- ★これまで以上に、学年チーム教員の得意な教科を担当し、各教員のよさを生かすことで質の高い授業を行います。
- ★これまで以上に、教員が互いに指導技術を学ぶ場となり、教育力の向上につなげます。
- ★これまで以上に、複数の教員が多様な見方で一人一人の内面を捉えて指導・支援を行います。
- ★これまで以上に、複数の教員が子供一人一人の多様な考え方を認め、伸ばすことが期待できます。
- ★「時差出勤」を取り入れるなど教員の勤務体制の改善や「働き方改革」につなげます。

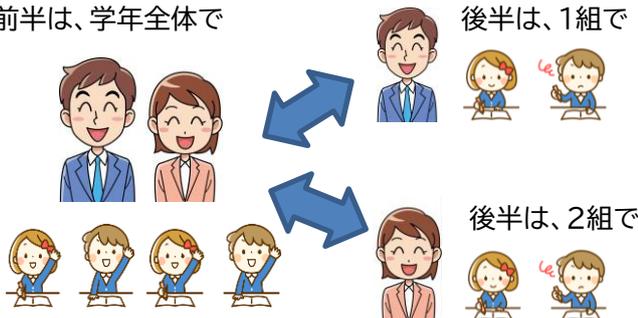
西部小学校においては、これまで

- ・学年行事を進める時には、各学年の担任全員と一緒に指導する。
- ・生徒指導上の問題や子供たちの相談にも、複数の教員がチームで対応する。
- ・算数や道徳、家庭科、総合的な学習の時間、科学の時間等において、担任を入れ替えて指導する。
- ・2クラスを3つのグループに分け、少人数指導教員を含めた3人で指導する。
- ・全校一斉に各学年主任が学年全体に話をする。
- ・週末の帰りの会は、学年同時に行い学年の全担任が話をする。
- ・その他、外国語や音楽の学習は専科教員が指導する。 などを進めてきました。

令和7年度については、これまで実施してきたことを含め、以下のような内容等も取り入れながら、よりチーム担任制を推進します。

- ・朝の会や帰りの会を学年の教員が交代で行う。
- ・学習内容によって、45分間の授業を学年全体の指導と各学級での指導を組み合わせる。
※例えば、1限の前半20分を全体で指導（A先生がT1、B先生がT2）し、後半25分を各学級に分けて指導（A先生が1組、B先生が2組）する。
- ・教育相談等の子供の相談、また、保護者からの相談を複数の教員がチームになって対応する。 など

前半は、学年全体で



1組、2組で理科を指導



なお、全ての時間がこのような形態の学習であるとは限りません。教科や学習内容によって学習形態は違います。配置される教員数等を踏まえ、子供たちの学力向上により効果的な学習形態を選択します。

令和7年度、市内小中学校がコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）を導入します

令和7年度から市内小中学校で、コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）が導入されます。

コミュニティ・スクールは、「地域とともにある学校づくり（学校・家庭・地域が相互理解や信頼関係を深めるために）」を目指し導入される制度です。学校（校長）は、保護者や地域住民の方等から選ばれた学校運営協議会委員に、市教育委員会が定めた以下のことについて、意見をいただきながら承認してもらいます。そして、承認していただいた学校運営方針の基本、教育活動を進めるために、保護者や地域住民の方々に、ご理解とご協力、ご支援をお願いすることになります。

<校長が作成し承認を得る事項>

- ・教育課程の編成に関する事
- ・学校経営計画に関する事
- ・組織編成に関する事
- ・施設管理及び施設設備等の整備に関する事

<市教育委員会や校長に対する意見の申出事項>

※意見具申の時は、学校長の意見を聴取する。

- ・学校の運営全般について

<住民の参画の促進等のための情報提供について>

※学校の運営、運営に必要な支援に関し、地域住民、児童、保護者等の理解を深め、協力、参画等が促進されるよう努める。

■コミュニティ・スクールを導入することでこれまで以上に期待される効果（文部科学省資料より）

- ▶▶ 保護者・地域住民等も子供たちの教育の当事者となり、責任感をもって積極的に子供への教育に携わることができるようになります。
 - ・お互いに顔が分かる関係になり、地域住民等が子供たちに積極的に声をかけたり、直接助言したりする場面が増加します。
 - ・学校が保護者や地域住民等と一緒に課題等に対する対応策を考え実行に移すことができます。
 - ・地域ぐるみで効果的に子供を育む体制が構築されます。
- ▶▶ 保護者や地域住民等にとって学校運営や教育活動への参画は、自己有用感や生きがいにつながります。さらに、子供たちの学びや体験が充実します。
 - ・多くの専門性や地域の力を生かした学校運営や教育活動が実現し、子供たちに多様な経験を積ませることができます。
 - ・学校が社会的なつながりを得られる場となり、地域のよりどころとなります。
 - ・地域の特性を生かした学びを目標を共有した上で実施することにより、学校での学びがより豊かで広がりをもちます。
- ▶▶ 保護者や地域住民等と学校が顔が見える関係となり、保護者や地域住民等の理解と協力を得た学校運営が実現します。
 - ・学校の現状や運営方針について理解が深まり、地域住民等が学校の応援団となります。
 - ・学校・家庭・地域の「適切な役割分担」により、教職員が子供と向き合う時間の確保につながります。
- ▶▶ 地域の課題解決に向けた取組や大規模災害時の緊急対応等に、学校と地域が一体となって取り組むことができます。

※ 滑川市全体で令和7年度導入のチーム担任制及びコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）については、今後も説明を続けていきます。ご理解とご協力をよろしくお願いします。